

# 令和4年度 31 大分県高等学校新人空手道競技大会 実施要項

- 1 主催 大分県高等学校体育連盟 大分県教育委員会
- 2 期 日 令和4年10月15日(土) 12:00 審判監督会議、12:30 開会式、13:00 競技開始(形競技)  
10月16日(日) 8:45 審判監督会議、9:30 開始式、10:00 競技開始(組手競技)
- 3 場 所 杵築市文化体育館(杵築市本庄2005) [審判監督会議:ミーティングルーム]
- 4 競技規則 (1) (公財)全日本空手道連盟制定の空手競技規定(平成31年度版)に準ずる。  
(2) 競技の運用については、(公財)全国高等学校体育連盟空手道専門部の申し合わせ事項を適用する。
- 5 競技種目 (1) 団体種目 a) 男子団体形 b) 女子団体形 c) 男子団体組手 d) 女子団体組手  
※団体種目は各校チーム対抗戦とする。  
**※団体組手は5人制と3人制にて実施し、各校どちらか一方のみに出場できる。(R4年度)**  
(2) 個人種目 a) 男子個人形 b) 女子個人形 c) 男子個人組手 d) 女子個人組手  
※個人組手競技は下記の体重別階級制で実施する。(R2年度)  
**【男子】-55kg級、-61kg級、-68kg級、-76kg級、+76kg級**  
**【女子】-48kg級、-53kg級、-59kg級、+59kg級**
- 6 競技方法 (1) 組手競技は、団体種目・個人種目ともにトーナメント方式とする。  
(2) 形競技について、個人形は予選、準決勝を行う。また、団体形は予選において、個人形は準決勝において、決勝と3位決定戦選出チーム・選手を決定する。
- 7 参加資格 (1) 「令和4年度大分県高等学校新人大会実施要項」の参加資格に準ずる。  
(2) 令和4年度の全日本空手道連盟および大分県空手道連盟の登録会員であること。
- 8 参加制限 (1) 団体組手のチーム構成は、5人制は男女それぞれ監督1名、正選手5名、補欠3名の計9名とする。**3人制は男女それぞれ監督1名、正選手3名、補欠1名の計4名とする。**  
(2) 団体形のチーム構成は、男女それぞれ監督1名、正選手3名、補欠3名の計7名とする  
(3) 個人種目は、形・組手それぞれ監督1名で選手は男女とも種目ごとに1校20名以内とする。
- 9 参加申込 (1) 申込期限 **令和4年9月22日(木) 必着**  
(2) 申込方法 大分県高体連webサイトより参加申込書をダウンロードして必要事項を入力する。  
男女各1部印刷して押印し、下記宛先へ送付する。  
なお、承認を得た申込電子データを下記宛メールにて送信する。  
(3) 宛先 〒870-0104 大分市南鶴崎3-5-1 大分鶴崎高等学校 水江友和 宛  
**メール送信先: mizue-tomokazu@oen.ed.jp データ送信期限: 9月22日(木)15:00必着**  
**ファイル名は R04県新人申込-学校名(例: R04県新人申込-大分鶴崎) とすること。**
- 10 参加負担金 選手1人あたり加盟校600円・非加盟校1,000円とする。(補欠含む) 大会当日受付で納入する。
- 11 出場権の獲得 下記該当校および個人に九州新人大会(兼 全国高校選抜大会予選会)の出場権を与える。  
(1) 団体形・団体組手(5人制)はそれぞれ上位4校、**団体組手(3人制)は上位1校**  
(2) 個人形種目は上位4名  
(3) 個人組手種目は、男子は各階級の1位の者と、出場者数の多い3階級において2位の者に  
出場権を与える。女子は各階級の上位2名に出場権を与える。  
※各階級の出場者数により出場権決定の方法を変更する場合がある。(申し合わせ事項に記載)
- 12 組合せ抽選 (1) **令和4年9月28日(水) 13:00~ 大分商業高等学校(大分県高体連事務局)**  
(2) 組み合わせ抽選は、専門委員により抽選基準に基づいて行う。
- 13 連絡事項 競技方法の細目は、本大会の申し合わせ事項(別紙)により定める。

◆前年度からの主な変更点◆

団体組手に3人制を導入する。

全国選抜大会が福岡県開催のため、九州新人大会における全国選抜大会出場権の割当に変更あり。

◆今大会は許可された観客の入場を認めます。顧問は事前に入場者一覧を作成すること。

0. 競技規則

(1) (公財)全日本空手道連盟制定の空手競技規定(平成31年度版)に準ずる。

(2) 競技の運用については、(公財)全国高等学校体育連盟空手道専門部の申し合わせ事項を適用する。

1. 団体形競技

予選にて得点方式により4チームを選出する。出場が4チームに満たない場合も、予選を行う。

予選の1位と2位で決勝を行う。予選、決勝において同点の場合は得点の内訳を考慮し、勝者を決定する。

予選は指定形、決勝戦は予選で演じた以外の得意形とする。なお、決勝戦は分解演武を行う。

演武と分解を合わせた時間を5分以内とする。演武前の礼、演武後の礼をしない場合は反則となる。

2. 個人形競技

(1) 予選、準決勝

審判5または7名による得点方式で実施し、2名同時演武とする。欠場者が出た場合は詰めて実施する。

予選1回戦にて各パートから4名を選出する。予選2回戦にてAB(8名)、CD(8名)から各4名を選出する。

準決勝にてABとCDの2パート各4名から3名を選出し、上位1名が決勝、2位と3位が3位決定へ進出する。

2回戦以降の演武順は抽選により決定する。

参加人数が24名に満たない場合は、Aパートから4名、Bパートから4名の計8名が準決勝に進出する。

予選1回戦は指定形、予選2回戦は得意形①、準決勝は得意形②とする。

(2) 3位決定戦

(1)の準決勝戦のABパート2位とCDパート3位、CDパート2位とABパート3位の選手により実施する。

演武順については、番号が小さい者を赤、大きい者を青とする。

演武する形は得意形③とする。

(3) 決勝

(1)の準決勝戦の各1位2名により実施する。演武順については3位決定戦と同様とする。

演武する形は得意形③とする。

※1 各回戦で同点により次の回戦に進出する人数が、規定の人数を超える場合は得点比較により決定する

※2 予選1回戦から決勝・3位決定までに、最低4つの形が必要である。(ただし参加人数による)

※3 指定形および得意形は空手競技規定の付録17および付録18から選択しなければならない。

3. 組手競技の安全具

以下の高体連指定の安全具を着用すること。

【女子】 正拳サポーター(全空連検定・赤青)、ボディープロテクター(高体連指定または全空連検定)、ニューメンホー(タイプVIまたはVII)、シンガード・インステップガード(高体連検定)の4点

【男子】 女子の4点にセイフティーカップを加えた5点

※メンホーには「マウスシールド(ミズノ製)」を着用すること。

4. 団体組手競技

(1) トーナメント方式とする。

(2) 2回戦までは全員が競技を行い、3回戦以降は勝敗が決した時点で競技終了とする。

勝敗が決する場合は、勝敗数はもちろん、得失点差が11ポイントを超えた場合も含まれる。

(3) チームのメンバーが5名に満たない場合は、選手を先鋒から大将までの何処に配置してもよい。

## 5. 個人組手競技

- (1) 男女それぞれ下記の階級制とし、階級ごとのトーナメント方式とする。  
ただし、一階級3名のみ出場の場合は、リーグ戦にて順位を決定する。
- (2) 出場者は全員、指定された時間内に計量を受け、出場資格の確認を受けなければならない。
- (3) 階級表 着衣分0.5kgと計測器測定幅±0.5kgを考慮し、下記の通りとする。

【男子】	A	-55kg級	56.0kg未満
	B	-61kg級	55.0kg以上 62.0kg未満
	C	-68kg級	61.0kg以上 69.0kg未満
	D	-76kg級	68.0kg以上 77.0kg未満
	E	+76kg級	76.0kg以上

【女子】	A	-48kg級	49.0kg未満
	B	-53kg級	48.0kg以上 54.0kg未満
	C	-59kg級	53.0kg以上 60.0kg未満
	D	+59kg級	59.0kg以上

### (4) 計量についての注意事項

計量の服装は、男女ともに上衣はTシャツ（半袖）、下衣はスパッツ（ハーフサイズ）とする。包帯・サポーター等の着用は一切認めない。

指定した時間内に計量を受けない場合、参加申込書にて届け出た階級の体重区分に適していない場合（超過または不足）は棄権となり、個人組手出場の権利を失う。なお、他種目への出場は可能である。

※選手の健康面に配慮し、無理な減量や増量を行わないこと。

### (5) 九州新人大会（兼 全国選抜大会予選会）の出場権について（個人組手のみ）

- 1) 女子は各階級の上位2名に出場権を与える。
- 2) 男子は各階級の1位の者に加えて、出場選手数が多い3階級における2位の者に出場権を与える。
- 3) 各階級で2名以下の出場者数になった場合や全国高体連推薦などによる場合は、原則として他階級へ振り分ける。詳細については、組み合わせ抽選時に専門委員会で審議して出場権を与える方法を決定し、各出場校へ周知する。

## 6. 確認事項

### (1) ゼッケンについて

全国高体連空手道専門部指定のゼッケンを空手道衣の背中に縫い付けて着用すること。

購入については別途連絡により案内する。（令和3年度より導入）

### (2) 九州新人大会への審判員派遣について

九州新人大会は九州高体連空手道専門部の申し合わせ事項により、各県より4名以上の審判員を派遣することになっています。

つきましては、参加校より派遣費が負担できる審判員1名を派遣いただくことを原則とし、学校の事情により審判員が派遣できない場合は、審判員派遣費を参加エントリー数に応じて負担いただくこととしております。

派遣審判員および派遣費が確定しましたら、改めて文書にてお知らせいたします。趣旨をご理解いただき、派遣費の納入をお願いいたします。

## 7. 感染症対策

別紙「感染症等の対策に関する留意事項について」を熟読してください。

今大会は競技のWeb配信を行いません。会場のネットワーク環境が整っていないためです。

ご了承ください。

## 8. 全国選抜大会について(R4年度のみ、詳細は九州新人大会要項に記載)

### 【団体形、団体組手(5人制)、個人形】

県1位は全国選抜大会出場権獲得、県2～4位は九州新人大会にて全国選抜大会出場権を決定する。

各県1位と予選会にて出場権を獲得したチーム・選手で、順位決定戦を行う。

団体組手(3人制)は九州新人大会にて出場校を決定する。県の結果では決まらない。

### 【個人組手】

男女とも、各階級優勝者のみでトーナメントを行い、勝者1名が全国選抜大会出場権を獲得する。

それ以外の選手は九州新人大会にて全国選抜大会出場権を決定する。